

オーストリア

2022年10月12日

海外調査部・ウィーン事務所

2021年の貿易は、コロナ禍での不調から回復し、輸出額、輸入額ともに、過去最高額を記録したが、貿易赤字は大幅に増加した。直接投資も対内・対外ともに大幅に増加した。対内直接投資では米国企業によるeモビリティ分野での買収があり、対外直接投資では半導体、紙パルプの大手企業が海外の生産基盤を広げた。対日貿易は、輸出が新型コロナ危機以前の2019年のレベルを上回るまで、輸入は同レベルに接近するまで回復し、自動車の貿易は黒字に転じた。

■輸出入ともに大幅に増加、貿易赤字も拡大

2021年の貿易は、輸出が前年比16.1%増の1,654億7,600万ユーロ、輸入は23.2%増の1,779億7,700万ユーロとなり、2019年比ではそれぞれ7.8%、12.8%上回り、過去最高額を記録した。貿易赤字は125億100万ユーロで、前年の18億5,500万ユーロの6.7倍に拡大した。

輸出を品目別にみると、最大品目の機械・輸送機器（構成比37.0%）が前年比12.6%増と好調だった。うち道路輸送機器（9.7%）は、乗用車（4.3%）の15.2%増や自動車部品（2.5%）の13.7%増により、13.1%増となったが、サプライチェーンの混乱により一時的な生産停止があったため、2019年の水準には至らなかった。また、産業用機械（6.0%）は、プラスチック産業用機械と半導体製造用機械の大幅な増加のため、19.5%増となった。原料別製品（21.3%）は、主力の金属製品（5.7%）と鉄製品（5.1%）の増加により、22.8%増になった。

輸出を国・地域別にみると、全体の7割近くを占めるEU（構成比68.1%）は前年比16.9%増と前年の減少から増加に転じ、2019年比でも10%上回った。最大の輸出相手国のドイツ（30.1%）は、原材料製品（22.7%）が19.8%増、化学品（11.6%）が29.1%増と大きく伸び、14.8%増となった。続くイタリア（6.8%）も、原料別製品（28.8%）が30.2%増、機械・輸送機器（20.6%）が30.9%増、原料（14.2%）が48.7%増と、上位3品目が伸びて26.8%増となった。EU域内の非ユーロ圏（構成比16.2%、20.7%増）では、中・東欧のルーマニア（1.8%）が26.1%増、ハンガリー

表1 オーストリアの品目別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出(FOB)				輸入(CIF)			
	2020年	2021年			2020年	2021年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械・輸送機器	54,398	61,275	37.0	12.6	50,450	58,889	33.1	16.7
道路輸送機器	14,205	16,061	9.7	13.1	14,986	16,901	9.5	12.8
乗用車	6,223	7,168	4.3	15.2	7,096	7,827	4.4	10.3
自動車部品	3,627	4,124	2.5	13.7	4,514	5,050	2.8	11.9
電気・電子機器	10,260	11,622	7.0	13.3	10,253	12,554	7.1	22.5
産業用機械	8,364	9,995	6.0	19.5	4,554	5,847	3.3	28.4
一般機械	8,696	9,725	5.9	11.8	8,073	9,316	5.2	15.4
原動機	6,019	6,200	3.7	3.0	3,630	4,258	2.4	17.3
原料別製品	28,731	35,294	21.3	22.8	22,943	28,999	16.3	26.4
金属製品	7,551	9,353	5.7	23.9	6,345	7,903	4.4	24.5
鉄製品	6,221	8,402	5.1	35.1	3,542	5,707	3.2	61.1
化学品	22,182	25,193	15.2	13.6	20,951	26,159	14.7	24.9
医薬品	11,940	12,499	7.6	4.7	9,559	11,933	6.7	24.8
雑製品	16,019	17,722	10.7	10.6	21,826	24,553	13.8	12.5
食品・動物・飲料・たばこ	12,005	13,135	7.9	9.4	11,643	12,653	7.1	8.7
原料	4,276	5,841	3.5	36.6	5,818	8,234	4.6	41.5
コルク・木材	1,646	2,440	1.5	48.2	1,407	1,819	1.0	29.3
燃料・エネルギー	2,810	4,154	2.5	47.8	8,258	13,894	7.8	68.2
原油・石油製品	1,308	2,035	1.2	55.6	4,887	7,277	4.1	48.9
電力	1,121	1,620	1.0	44.5	884	1,935	1.1	118.9
天然ガス	380	498	0.3	31.2	2,030	4,186	2.4	106.2
その他製品	2,145	2,862	1.7	33.4	2,533	4,597	2.6	81.5
非貨幣用金	2,112	2,817	1.7	33.4	2,455	4,474	2.5	82.3
総額(その他含む)	142,566	165,476	100.0	16.1	144,421	177,977	100.0	23.2

【注】EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

【出所】オーストリア統計局のデータから作成。

【出所】オーストリア統計局

(3.7%) が24.1%増、ポーランド(4.0%) が19.3%増と、それぞれ機械・輸送機器と原料別製品を主力に大幅に増加した。

EU域外(構成比31.9%)は前年比14.4%増の528億3,386万ユーロだった。このうち最大の輸出先である米国(6.7%)は、19.4%増と前年の9.2%減から堅調に回復した。対米輸出の約半分を占める機械・輸送機器(49.2%)は22.8%増になり、このうち、一般機械(7.6%)の伸びが58.2%増で特に著しかった。アジア大洋州(8.0%)は18.2%増の132億3,000万ユーロになった。そのうち、中国(2.9%)が23.1%増となった。対中輸出の半分以上を占める機械・輸送機器(51.8%)が、道路輸送機器(12.1%)のほぼ倍増などにより25.2%増になったことが寄与した。

ウクライナ侵攻でG7を中心に経済制裁を実施しているロシア(1.2%)は5.7%減と、輸出相手国上位30カ国・地域でマイナスを記録した唯一の国であり、最大輸出品目である機械・輸送機器(32.7%)は23.3%減と大幅に落ち込んだ。一方、対ウクライナ(0.4%)への輸出は17.5%増になった。

輸入を品目別で見ると、すべての品目が2桁で伸び、特に燃料・エネルギー(構成比7.8%)の伸び率が68.2%と大きかった。上位3品目である機械・輸送機器(33.1%)、原料別製品(16.3%)、化学品(14.7%)の伸びがそれぞれ16.7%増、26.4%増、24.9%増と好調だった。

輸入を国・地域別にみると、EU(構成比66.6%)は前年比20.1%増となった。アジア大洋州(12.7%)は25.2%増となり、このうち最大輸入元である中国(7.4%)が28.6%増となった。対中輸入の約半分を占める機械・輸送機器(45.9%)は24.0%増となり、医薬品(8.9%)は約7倍となった。ロシア(2.6%)は燃料・エネルギー(86.6%)が2倍強となったことが響き、全体でも2倍強となった。

2022年1月～5月も、輸出入はともに増加傾向にある。同期輸出は、前年同期比18.9%増、輸入は23.7%増で、貿易赤字は79億2,000万ユーロで2倍となった。オーストリア経済研究所(WIFO)は6月、ロシアのウクライナ侵攻、エネルギー価格高騰など下方リスクがあるとして、2022年通年では輸出が前年比5.0%増、輸入が5.2%増との予測を発表した。

■直接投資は内外ともに大幅に拡大

オーストリア国立銀行によると、2021年の対内直接投資額(国際収支ベース、ネット、フロー)は前年の131億7,100万ユーロの引き揚げ超過から49億2,300万ユーロの流入に転じた。対外直接投資額も前年の21億100万ユーロの引き揚げ超過から91億1,600万ユーロに転じた。

2021年の対内直接投資を国・地域別で見ると、EUが34億2,200万ユーロ、うちユーロ圏は29億6,000

表2 オーストリアの主要国・地域別輸出入

(単位: 100万ユーロ、%)

	輸出(FOB)				輸入(CIF)			
	2020年		2021年		2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	96,389	112,642	68.1	16.9	98,766	118,583	66.6	20.1
ユーロ圏	71,548	82,891	50.1	15.9	77,552	91,339	51.3	17.8
ドイツ	43,431	49,855	30.1	14.8	50,515	58,866	33.1	16.5
イタリア	8,823	11,189	6.8	26.8	9,119	11,531	6.5	26.4
フランス	6,105	6,284	3.8	2.9	3,742	4,531	2.5	21.1
オランダ	2,832	2,832	1.9	13.9	3,983	4,773	2.7	19.9
非ユーロ圏	22,229	26,826	16.2	20.7	19,172	24,434	13.7	27.4
ポーランド	5,507	6,569	4.0	19.3	4,499	5,753	3.2	27.9
ハンガリー	4,948	6,139	3.7	24.1	3,872	4,738	2.7	22.3
チェコ	5,083	6,026	3.6	18.5	6,014	7,772	4.4	29.2
ルーマニア	2,357	2,973	1.8	26.1	1,582	2,162	1.2	36.7
アジア大洋州	11,191	13,230	8.0	18.2	17,989	22,522	12.7	25.2
中国	3,915	4,821	2.9	23.1	10,187	13,096	7.4	28.6
日本	1,522	1,704	1.0	12.0	2,050	2,236	1.3	9.1
ASEAN	1,666	1,812	1.1	8.8	2,980	3,855	2.2	29.4
インド	833	1,030	0.6	23.6	898	1,120	0.6	24.7
米国	9,297	11,100	6.7	19.4	5,259	5,683	3.2	8.1
スイス	7,479	8,173	4.9	9.3	7,617	9,730	5.5	27.7
英国	4,080	4,440	2.7	8.8	2,144	2,738	1.5	27.7
ロシア	2,118	1,998	1.2	△ 5.7	2,171	4,669	2.6	115.1
アフリカ	1,713	1,860	1.1	8.6	1,478	2,224	1.2	50.5
メキシコ	1,097	1,287	0.8	17.3	331	386	0.2	16.5
合計(その他含む)	142,566	165,476	100.0	16.1	144,421	177,977	100.0	23.2

[注] ①EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

②アジア大洋州はASEAN+6(日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド)に香港および台湾を加えた合計値。

[出所] オーストリア統計局

万ユーロだった。最大の投資国であるドイツは12億8,200万ユーロと、前年の35億800万ユーロの引き揚げ超過から回復した。EU域外では、米国が19億5,500万ユーロ、ロシアも14億8,600万ユーロと、前年の引き揚げ超過から流入に転じた。米国からは、EV充電設備の運営を行うチャージポイントによる電気自動車ソフト開発企業のハス・トゥ・ビーの買収、農業機械大手ジョン・ディアによる電気自動車用バッテリー開発会社クライセル・エレクトリックの株式の過半数の取得など、電気自動車分野での買収が散見された。

オーストリア経済振興会社(ABA)は、2021年に前年比11社増となる364社の外国企業を誘致した。投資総額は前年の2.1倍となる12億4,000万ユーロ、雇用創出数は前年比1,238人増の3,403人と、いずれも前年を大幅に上回った。誘致案件を国別で見ると、ドイツが113社、イタリアが35社、スイスが30社と続いた。業種別では、IT・ソフトウェア・テレコムが72社、企業向

表3 オーストリアの国・地域別対内・対外直接投資<国際収支ベース、ネット、フロー>

(単位: 100万ユーロ)

	対内直接投資		対外直接投資	
	2020年	2021年	2020年	2021年
EU	△ 2,917	3,422	△ 832	10,715
ユーロ圏	△ 3,033	2,960	△ 780	1,974
ドイツ	△ 3,508	1,282	1,151	645
ルクセンブルク	56	741	△ 1,095	282
オランダ	1,032	634	△ 782	△ 304
フランス	△ 156	288	△ 126	△ 612
イタリア	△ 200	92	325	608
アイルランド	△ 369	△ 48	50	723
非ユーロ圏	203	561	△ 54	8,740
チェコ	113	458	△ 356	331
ポーランド	8	13	574	8,293
米国	△ 1,424	1,955	351	1,175
ロシア	△ 1,704	1,486	△ 1,215	△ 611
英国	△ 1,620	362	217	520
アフリカ	59	202	70	101
トルコ	30	78	50	64
中国	121	55	△ 1,715	△ 30
インド	5	3	103	61
日本	69	△ 67	24	148
スイス	△ 661	△ 460	956	△ 594
アラブ首長国連邦	△ 4,144	△ 760	△ 550	△ 1,419
ブラジル	△ 106	△ 1,125	543	△ 440
合計(その他含む)	△ 13,171	4,923	△ 2,101	9,116

[注] 2021年は暫定値
[出所] オーストリア国立銀行

表4 オーストリアの主な対内直接投資案件(2021年~2022年2月)

<M&A以外>

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
医薬品	ペーリンガー・インゲルハイム	ドイツ	2021年4月	12億ユーロ	ニーターエースタライヒ州東部のブルック市での、バイオ医薬品の製造プラントを建設予定と発表。2026年の完成、800人の雇用創出を予定。
グリーン水素	ADX エネルギ	オーストラリア	2021年10月	非公表	オーストリアで風力発電91基を運営しているWKSと、ウィーン盆地におけるグリーン水素製造と地下貯蔵施設の共同開発について合意したことを発表。
金属	ノルスク・ヒドロ	ノルウェー	2021年7月	4,500万ユーロ	フォアールベルク州ネツイン市のアルミウム工場に4番目の押し出し成型ラインを追加し生産能力を30%拡大することを発表。2022年に着工、2023年春に稼働予定。

<M&A>

被買収企業(事業)		買収企業		時期	投資額	概要
業種	企業名	企業名	国籍			
電気自動車	ハス・トゥ・ビー	チャージポイント	米国	2021年10月	2億5,000万ユーロ	EV充電設備の運営を行うチャージポイントは、電気自動車ソフト開発企業のハス・トゥ・ビーの買収を完了したと発表した。ヨーロッパでの電気自動車事業の強化を図る。
電気自動車	クライセル・エレクトリック	ジョン・ディア	米国	2022年2月	非公表	農業機械大手ジョン・ディアは、最先端電気自動車用バッテリー開発会社クライセル・エレクトリックの株式の過半数の取得を完了したと発表した。クライセル・エレクトリックの高エネルギーバッテリーを用いて、製品の電動化を進める。
医薬品	オリグリム	サノフィ	フランス	2021年12月	非公表	医薬品大手サノフィは、オーストリアのバイオテクノロジー会社オリグリムの買収に合意したと発表。オリグリムは皮膚病の薬の開発を行っており、今回の買収によりサノフィは世界初となるご瘡(にきび)のワクテン治療法の開発を進める予定。

[出所] 各社発表および報道などから作成

表5 オーストリアの主な対外直接投資案件(2021年~2022年1月)

<M&A以外>

業種	企業名	投資先国	時期	投資額	概要
半導体	AT&S	マレーシア	2021年6月	17億ユーロ	東南アジア初の製造拠点をマレーシアに建設すると発表。2021年後半に建設開始、2024年には工場が稼働予定。5,000人の雇用を創出する見通し。
半導体	AT&S	韓国	2021年12月	非公表	医療分野向けハイテクプリント基板を製造する韓国の安山工場を8,000平方メートル拡張し、包括的な技術のアップグレードを行ったと発表。

<M&A>

買収企業		被買収企業(事業)			時期	投資額	概要
企業名	業種	企業名	国籍				
マイヤーメルンホーフ	紙パルプ	インターナショナル・ペーパー・ホールディング	ポーランド	2021年8月	約6億7,000万ユーロ	マイヤーメルンホーフは、ポーランドのクイテン市で段ボールやコピー用紙を製造するインターナショナル・ペーパー(本社:米国)の工場の買収を完了したと発表。競争力の強化や提供するサービスの幅の拡大を図る。	
マイヤーメルンホーフ	紙パルプ	コトカミルス	フィンランド	2021年8月	約4億2,500万ユーロ	マイヤーメルンホーフは段ボールメーカーコトカミルスの買収を完了したと発表。段ボール市場での競争力の強化を図る。	
XXXルッツ	家具	リボ	スイス	2022年1月	非公表	XXXルッツは、スイスで23店舗を運営する大手家具ディスカウントチェーンのリボを買収する予定だと発表した。ブランド名「リボ」は買収後も使われる予定。	
コンスタンティア・フレックス	包装	プロバック	トルコ	2021年6月	非公表	コンスタンティア・フレックスは、トルコの同業プロバックの買収を完了したと発表。ヨーロッパの菓子用包装市場における地位の強化を図る。	

[出所] 各社発表および報道などから作成

けサービスが57社、卸売業が38社と多かった。

2021年の対外直接投資を国・地域別で見ると、EUが107億1,500万ユーロと前年の引き揚げ超過から大幅に回復し突出した。国別ではポーランドが82億9,300万ユーロで最大だった。包装技術大手のマイヤーメルンホーフが2021年8月にクイチン市で工場買収を完了したと発表したほか、フィンテックのビットパンダが9月にクラクフ市で技術イノベーション・センターを建設予定と発表した。

■対日貿易は輸出入ともに大幅に増加、対日直接投資も拡大

2021年の対日輸出額は前年比12.0%増の17億400万ユーロ、対日輸入額は9.1%増の22億3,600万ユーロとなり、いずれも大幅に増加した。対日貿易赤字は5億3,200万ユーロで前年の5億2,800万ユーロから微増した。輸出入額ともに増加したが、オーストリアにとって日本は輸出で19位、輸入で18位と昨年からやや後退した。アジア大洋州では引き続き中国に続く2番目の貿易相手国となっている。

対日輸出を品目別で見ると、最大品目である機械・輸送機器（構成比47.1%）は前年比18.7%増となった。自動車（20.7%）が15.1%増となり、半導体製造用特殊機械（6.2%）の大幅な増加（3.9倍）によって産業用機械（9.8%）が57.9%増となったことなどが、これに寄与した。長年、オーストリアの主要な輸出品目であるコルク・木材（7.1%）の78.8%増により原料別製品（18.2%）は20.5%増、コルク・木材製品（7.0%）の35.6%増により原料（7.8%）は66.4%増となった。

日本からの輸入を品目別で見ると、全体の64.1%を占める機械・輸送機器は前年比9.0%増となった。このうち、従来、最大品目であった自動車（14.9%）は22.5%減と、昨年に引き続きマイナス成長となり、産業用機械（17.2%、54.4%増）に取って代わられた。化学品（17.0%）は、2.1倍となった医薬品（3.8%）に牽引され、31.8%増となった。

オーストリア国立銀行によると、2021年の日本からの直接投資受入額は6,700万ユーロの引き揚げ超過となったが、対日直接投資は前年の2,400万ユーロから1億4,800万ユーロに拡大した。日本からは2021年に3件の大型投資が発表された。8月に、ソフトバンク・ビジョン・ファンド2はイケア、レッドブル、ユニリーバなどの大手顧客を抱えるマーケティング・アナリティクスのアドベリティーに1億2,000万ドルを投資する旨が発表された。

日本への投資案件としては、AR（拡張現実）ソフト開発業者リアクティブ・リアリティーが2021年6月、東京に事務所を開設した。

表6 オーストリアの対日主要品目別輸出入 < 通関ベース >
(単位: 100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2020年		2021年		2020年		2021年	
	金額	構成比	伸び率	金額	構成比	伸び率	伸び率	
機械・輸送機器	677	803	47.1	18.7	1,314	1,433	64.1	9.0
自動車	306	353	20.7	15.1	429	332	14.9	△ 22.5
産業用機械	106	167	9.8	57.9	249	384	17.2	54.4
一般機械	91	85	5.0	△ 6.9	105	122	5.5	16.0
電気・電子機器	51	56	3.3	10.8	238	287	12.8	20.3
通信機器	15	17	1.0	8.6	65	53	2.4	△ 19.0
事務用機械	10	7	0.4	△ 26.3	141	149	6.7	5.7
原料別製品	257	310	18.2	20.5	136	161	7.2	18.2
金属製品	108	128	7.5	18.6	29	37	1.6	27.0
コルク・木材製品	88	119	7.0	35.6	0	0	0.0	△ 25.2
非鉄金属	9	11	0.6	20.3	14	43	1.9	210.9
化学品	170	168	9.8	△ 1.3	289	380	17.0	31.8
医薬品	94	70	4.1	△ 25.2	40	85	3.8	110.7
有機化学品	14	18	1.0	26.4	104	102	4.6	△ 1.8
その他工業製品	142	136	8.0	△ 4.0	218	238	10.7	9.2
計測機器	79	73	4.3	△ 8.4	103	125	5.6	21.9
雑工業製品	37	40	2.3	7.2	77	69	3.1	△ 9.8
カメラ、光学機器	5	4	0.3	△ 9.9	34	39	1.7	14.1
原料	80	134	7.8	66.4	6	8	0.3	16.8
コルク・木材	68	121	7.1	78.8	0	0	0.0	△ 93.0
食料品	58	63	3.7	9.0	5	5	0.2	8.5
飲料品・たばこ	11	8	0.4	△ 32.6	2	2	0.1	△ 4.3
合計 (その他含む)	1,522	1,704	100.0	12.0	2,050	2,236	100.0	9.1

〔出所〕オーストリア統計局

主要経済指標

	2019年	2020年	2021年
①人口：897.9万人（2022年）			
②面積：8万3,883km ² （2021年）			
③1人当たりGDP：53,368米ドル （2021年、推計値）			
④実質GDP成長率（%）	1.5	△ 6.7	4.8
⑤消費者物価上昇率（%）	1.5	1.4	2.8
⑥失業率（%）	4.8	6.1	6.2
⑦貿易収支（100万ユーロ）	△ 4,316	△ 1,850	△ 12,860
⑧経常収支（100万ユーロ）	8,316	7,203	△ 2,110
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	9,906	13,416	17,572
⑩対外債務残高（グロス） （100万ユーロ）	280,600	316,000	334,100
⑪為替レート（1米ドルにつき、 ユーロ、期中平均）	0.8933	0.8755	0.8455

〔出所〕 ①②⑦⑩：オーストリア統計局、③⑨⑪：IMF、④⑤⑥⑧：オーストリア国立銀行

（お問い合わせ先）

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp